

みわのみこみむすひめじんじや
神御子美牟須比命神社
(菟田野大神)



「三輪の奥宮」と称され、嘉平5年(893)に大神社(桜井市三輪)の分霊を遷し祀られたことが由緒となっています。またこのことから地名も大神といわれるようになったとも伝えられています。

毎年、この神社から4月の大神神社の鎮花祭には百合根、夏には氏子が収穫した小豆が、また6月の大神神社撰社である率川神社(いざかわじんじや・奈良市)の三枝祭にはササユリが奉納されており、現在も大神神社との関わりは深いものとなっています。

昔は社殿がなく、後方の山を御神体として拝んだといわれ、境内から続く山道の先にある奥宮社、道中にあるいくつかの祠などはその名残を残しています。

境内は、大神集落を西方に望む高台にあり、ここから望む美しい農村風景は、心に安らぎを与えてくれます。

▶集落の入り口には、大神神社宮司の名とともに「三輪明神 御神縁社 式内神御子美牟須比命神社」と彫られた道標

DREAM ~夢があるから強くなる~ 元プロスポーツ選手が夢を語る夢先生に!!
全小学校で JFA こころのプロジェクト「夢の教室」を実施



7月~12月にかけて、市内の小学校5年生全クラスを対象に「JFA こころのプロジェクト『夢の教室』」を実施しました。これは、日本や世界の舞台上で活躍した元スポーツ選手が「夢先生」として教壇に立ち、「夢を持つことの大切さ」を生徒たちに直接伝える事業です。



▲新井 周先生 (元卓球選手)
「夢を叶えるには感謝の気持ちをわすれないこと」



▲藤村 智美先生 (元サッカー選手)
「自分の力を信じて、好きなことに向かってほしい」

前半は、みんなで運動をしながら協調性の大切さを、後半は教室で、成功や挫折を繰り返しながらも夢に向かって進んでいくことの大切さ、すばらしさをわかりやすく教えてくれました。

また、生徒たちは「ぜひ夢を実現させてください」と励ましの言葉をうけ、最後に記念写真を撮ったあと、夢先生と握手をしたり、抱き合ったりして、楽しく授業を終えました。



▲富平 辰文先生
(元プロキックボクサー)
「夢はだまっていなくて話すことで、応援やアドバイスがもらえる」



▲大山 峻護先生
(元総合格闘技選手)
「失敗も自分の宝になる」



▲新井 麻衣先生
(元プロゴルファー)
「夢は必ず出会う。出会ったら全力で行動をすること」